

「経営計画策定支援システム（集落営農ver.）」の開発			
[要約] Microsoft Excel上で作動する「経営計画策定支援システム」（集落営農ver.）の <u>プロトタイプモデル</u> を開発した。当システムを利用することで、種々の経営条件下における <u>経営試算</u> を <u>短時間</u> で策定できる。			
栽培研究部・作物担当		[実施機関] 平成16～18年度	
[部会] 農産	[分野] 新たな研究分野	[予算区分] 受託	[成果分類] 指導

[背景・ねらい]

水田農業に特化した本県農業では、望ましい農業構造の確立に向けた集落営農の育成強化が喫緊の課題である。この場合、集落営農の組織化や経営体質強化に向けた取り組みの促進が求められる。そこで、集落営農の外部リーダーや内部リーダーによる経営計画の策定を支援するために、「経営計画策定支援システム」（集落営農ver.）を開発する。

[成果の内容・特徴]

本システムは、VBA（Visual Basic For Applications）を用いてMicrosoft Excel上で作動するシステムであり、データ入力メニュー、経営試算メニューで構成する（図1）。データ入力メニューでは、5つの設定シート（基本条件、営農プロセス、固定費、作業条件、試算条件）に必要データを入力する。データ入力は、「データベースと連動した”Click&Choice方式”」により、少ないキー操作で短時間に入力できる（図1）。

経営試算メニューでは、種々の経営条件に応じた経営計画（主要経営指標、経営構造分析表、旬別労働時間等）を自動計算できる。また、感度分析により、環境変化が経営に与える影響を定量的に把握できる（図1, 2）。

計画策定支援機能（結果比較・中期経営計画・施設機械更新計画・施設機械装備計画・販売計画・資材所要量計画）を利用することで、経営管理に必要な各種計画を短時間で策定できる（図1）。

[成果の活用面・留意点]

集落営農の内部リーダーや外部リーダーによる集落営農の育成強化場面で活用できる。

また、経営指標の組み替えにより、個別経営体への適用も可能である。

今後、プロトタイプモデルの試験運用、実用化に向けた改良を図るとともに、定性的な分析手法を組み合わせた経営計画策定支援手法を確立する。

来年度改訂の農業経営ハンドブックでの活用を図る。

